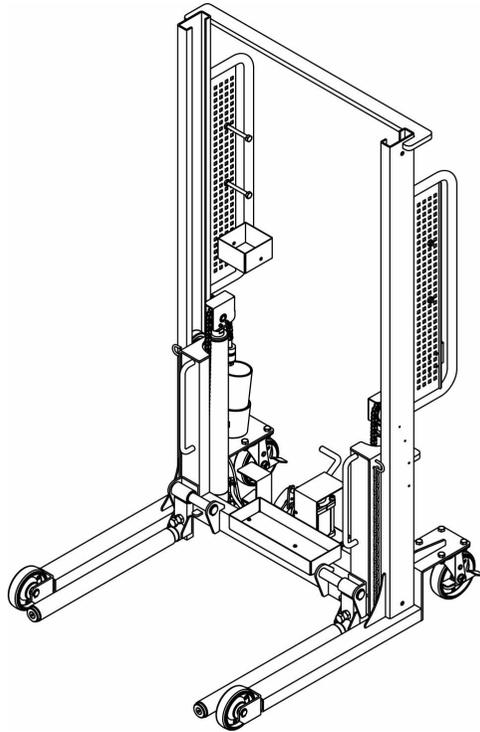


取扱説明書

大型タイヤリフター

NWD-400AH



⚠ 警告

本製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。

 **長崎ジャッキ株式会社**

取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。

まえがき

このたびは、長崎ジャッキ(株)の大型タイヤリフターをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んで使用頂かないと、十分能力を発揮できないばかりか車の落下や人身事故につながりますので、十分理解した上で、正しく使用してください。

お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社まで問い合わせしてください。尚、取扱説明書及び警告ラベル等貼付ラベルは大切に使用してください。万一紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管又は貼付してください。

警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止の為に重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

 **警告**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合及び物的損傷のみ発生が想定される場合。

目次

1.使用目的	1
2.警告・注意事項	1
2-1 警告事項	1
2-2 注意事項	2
2-3 ラベルの貼付位置とラベルの名称	3
3.構造及び各部の名称	3
3-1 構造及び各部の名称	3
3-2 安全装置	4
4.使用方法及び使用上の注意	5
4-1 始業点検	5
4-2 大型タイヤリフターを使用する床条件	6
4-3 準備	6
4-4 大型タイヤリフターとコンプレッサーの取り付け	7
4-5 昇降機構	7
4-6 タイヤ脱着作業	8
4-7 大型タイヤリフター移動作業	11
4-8 揚程制限	11
4-9 終業点検と保管	11
5.定期点検	12
5-1 点検	12
5-2 可動部への給油	13
5-3 作動油の種類と交換・補給	14
6.故障と処置	15
6-1 故障と処置	15
6-2 降下ペダル角度調整手順	17
7.仕様	18
8.製品保証規定	18

1.使用目的

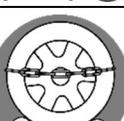
この大型タイヤリフターは、トラック等のタイヤの脱着を補助し、タイヤの移動作業を容易に行う為の補助機械です。

2.警告・注意事項

この大型タイヤリフターをご使用頂く上で的人身事故や車の損傷を防止する為の重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み理解してから使用してください。

2-1 警告事項

⚠ 警告

	取扱説明書をよく読み、理解してから使用すること。 ※重要な警告事項を説明しています。警告事項に従わないと重大事故につながります。
	操作は、操作方法を熟知した人以外は使用禁止。 ※誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。
	昇降時に昇降部に手や足や体を入れない。 ※手などを挟まれて、重傷の危険性があります。
	タイヤをチェーンで固定すること。 ※昇降又は移動中の振動でタイヤが落下し、負傷の危険性があります。

2-2 注意事項



一般的な注意事項

- 1.使用目的以外の使用禁止。
- 2.安全弁(安全装置)を絶対に調整や改造しないこと。
- 3.自動車整備以外での使用禁止。
- 4.能力以上の使用禁止。
- 5.タイヤの移動はタイヤの移動可能な高さまで下げて移動のこと。
- 6.保管場所は屋内に保管のこと。
- 7.大型タイヤリフターの改造は禁止。
- 8.洗車作業での使用禁止。
- 9.オイルは弊社指定のジャッキオイルを使用のこと。重粘度のオイル、ブレーキオイル等は絶対に使用しないこと。
- 10.大型タイヤリフターの上に乗ったり、物を載せたりしないこと。絶対に使用しないこと。

使用上の注意

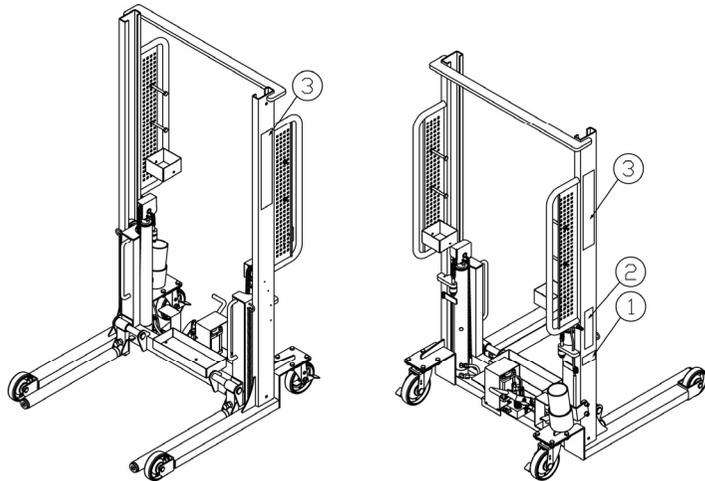
- 1.作業前に必ず始業点検を行うこと。
- 2.平坦な硬い床で使用のこと。
- 3.大型タイヤリフターの昇降操作中はタイヤや車体の状態に注意し、わき見運転は絶対禁止。
- 4.大型タイヤリフターの昇降時には、他の人を近付けたり触れさせないこと。
- 5.エンジンをかけたままの使用禁止。

操作上の注意

- 1.フォーク部はタイヤに確実にセットすること。
- 2.フォーク部の中心に重心を負荷すること。
- 3.偏荷重での使用禁止。
- 4.急激な下降操作はしないこと。

2-3 ラベルの貼付位置とラベルの名称

①	型式・能力ラベル
②	警告ラベル
③	製造元ラベル

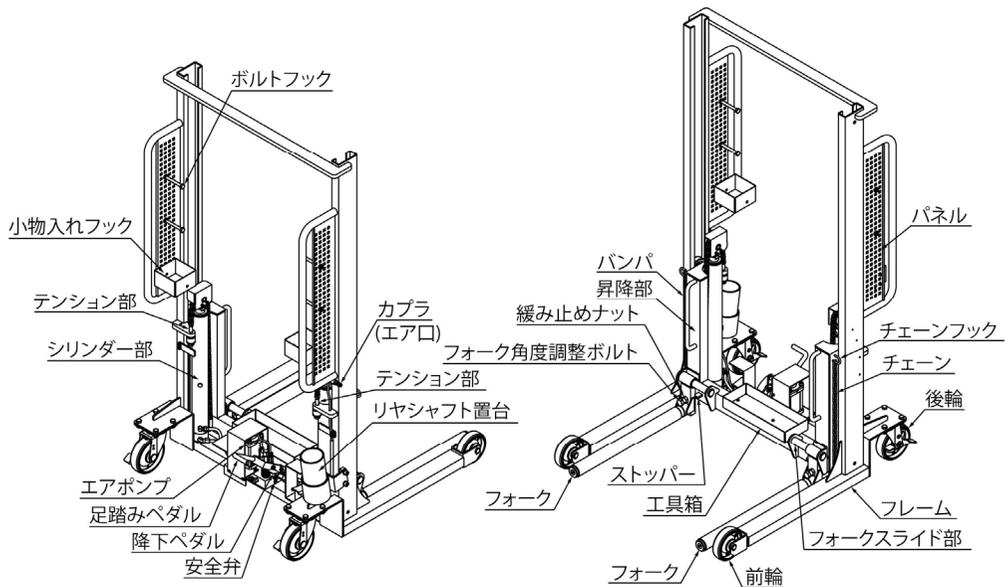


⚠ 注意

ラベルは大切に使用してください。はがれや汚損された場合は、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。

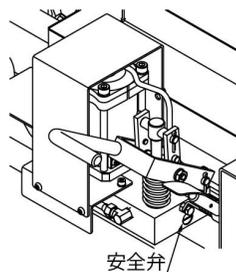
3.構造及び各部の名称

3-1 構造及び各部の名称



3-2 安全装置

安全弁(安全装置)は、大型タイヤリフターの能力を超えるタイヤを上昇させようとした時、又何らかのトラブルで油圧力が異常に上昇した時に油圧を逃がして大型タイヤリフターの破損や事故を防止するものです。



注意

安全弁(安全装置)の調整や改造は絶対しないこと。安全弁(安全装置)が作動しないで、重大な事故につながります。

4.使用方法及び使用上の注意

警告

大型タイヤリフターの操作は、使用方法を熟知した人以外使用しないこと。

4-1 始業点検

毎日作業前に必ず始業点検を行ってください。なお点検は大型タイヤリフターにタイヤを載せない状態で行ってください。

注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまで大型タイヤリフターの使用を禁止して、直ちに販売会社まで連絡してください。そのままお使いになりますと大型タイヤリフターの破損、及び重大な事故につながる危険があります。

※3ページの3-1構造及び各部の名称を参照してください。

点検箇所	内容	点検方法
・車輪	・スムーズに回転するか ・各部に変形、破損、磨耗はないか	・目視及び移動させて点検
・昇降部及びフォーク部	・上昇、下降を行った時、各部が円滑に作動し異音はないか	・目視、聴取
・パネル部	・パネルに変形はないか	・目視
・シリンダー部周り	・油漏れはないか	・目視
・エアポンプ部	・正常に作動しているか ・エア漏れはないか	・目視、聴取
・油圧配管部	・変形、破損、磨耗、キズはないか ・油漏れはないか	・目視
・各ねじ部 (ボルト及びナット部)	・変形、破損、緩みはないか	・目視、スパナ等にて点検
・止めリング ・割りピン類	・変形、破損、外れはないか	・目視
・チェーン及びチェーンフック	・変形、亀裂、破損はないか	・目視
・大型タイヤリフター全体	・変形、破損等異常はないか	・目視

⚠ 注意

- 1.増し締めを行う場合は取扱説明書16ページ表のねじ締付トルクを参考に行ってください。
- 2.大型タイヤリフターのシリンダー本体部の増し締めは行わないでください。増し締めを行う場合はお買い上げの販売会社へ連絡してください。

4-2 大型タイヤリフターを使用する床条件

⚠ 警告

傾斜地や軟弱な場所で使用しないでください。大型タイヤリフターが傾き、タイヤが落下する危険があります。平坦な硬い床で使用してください。

4-3 準備

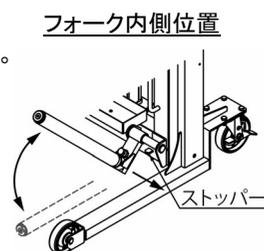
- 1.タイヤを車体から脱着する前に正常な状態で車両がリフトアップされているか確認してください。
- 2.大型タイヤリフターのフォーク部は必ず最低位まで下降されているか確認してください。
- 3.脱着するタイヤのサイズに合わせてフォーク間の幅を合わせてください。
- 4.フォーク部の角度をタイヤが脱着しやすい角度に調整してください。

フォークスライド機構

タイヤサイズに合わせて左右のフォークをスライドさせ、フォーク間の幅を調整してください。

フォーク部スライド操作方法

- 1.片方のフォークを45° 起こし、フォークを横へスライドさせてください。
- 2.ストッパーを超え、フォークが壁に当たるまでスライドさせてください。
- 3.フォークを元の角度に倒してください。

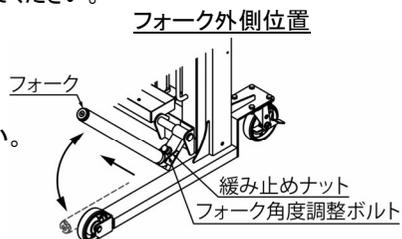


フォーク角度調整

タイヤの脱着がしやすい角度にフォークの角度を調整してください。

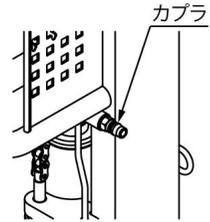
フォーク角度調整操作方法

- 1.角度調整ボルトの緩み止めナットを緩めてください。
- 2.角度調整ボルトを回しフォークの角度を調整してください。
- 3.緩み止めナットを締め付けて固定してください。



4-4 大型タイヤリフターとコンプレッサーの取り付け

- 1.エアの取口にはカプラが取り付けられています。適合するソケットをコンプレッサーからエアホースに取り付け、接合してください。
- 2.コンプレッサーから大型タイヤリフターまでのエアホースの長さは可能な限り短くしてください。また、内径8.0mm以上のホースを使用してください。



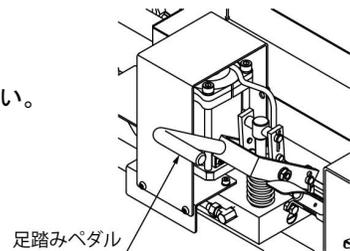
⚠注意

- 1.ホースは必要以上に長くしないでください。圧力の低下につながります。
- 2.コンプレッサー配管出口は必ずレギュレーター、エアフィルター、オイルを取り付けてください。
- 3.必ず0.7～1.0Mpaの圧力に調整し、使用してください。
- 4.コンプレッサーの所要動力2.2kW以上を使用してください。

4-5 昇降機構

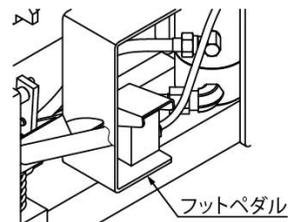
足踏みペダル操作(手動操作)

- 1.足踏みペダルを上下に操作し、フォーク部を上昇させてください。
- 2.目的の高さに達したら、足踏みペダル操作を止めてください。



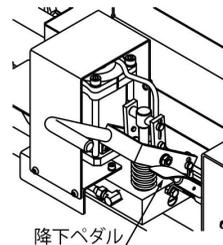
フットペダル操作(エア操作)

- 1.フットペダルを踏み込み、フォーク部を上昇させてください。
- 2.目的の高さに達したら、フットペダル操作を止めてください。



降下ペダル操作

- 1.降下ペダルをゆっくり踏み込み、フォーク部を下降させてください。
- 2.目的の高さに達したら、降下ペダル操作を止めてください。



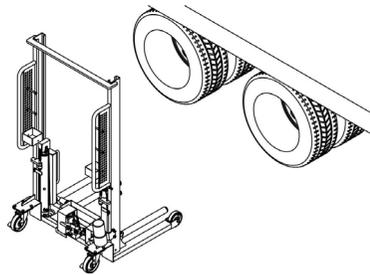
 注意

降下ペダルはゆっくり操作してください。早く操作するとフォークが急激に下降してタイヤが落下し、重大な事故につながります。

4-6 タイヤ脱着作業

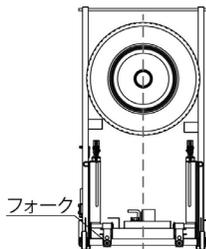
1. 取り外し方法

1. 取り外すタイヤの手前に大型タイヤリフターを移動させてください。

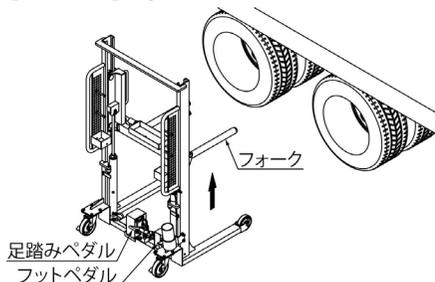


2. フォーク間の中心をタイヤの中心の下に移動させてください。

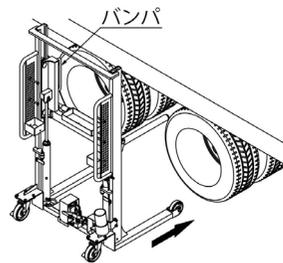
上昇させても車体等に干渉しないか確認してください。



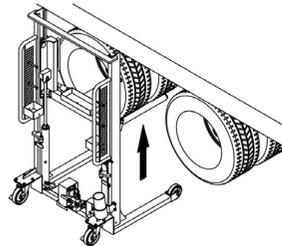
3. 足踏みペダルまたはフットペダルを操作し、フォーク部をタイヤより少し低い高さまで上昇させてください。



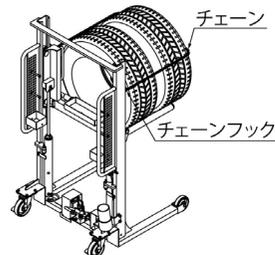
4. タイヤがバンパに当たる位置まで大型タイヤリフターを前進させてください。



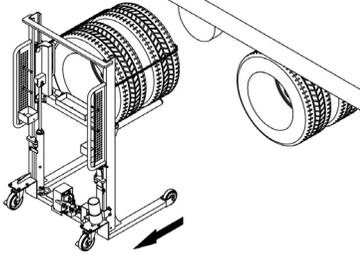
5. 足踏みペダルまたはフットペダルを操作し、タイヤが取り外し可能な高さまでフォーク部を上昇させてください。



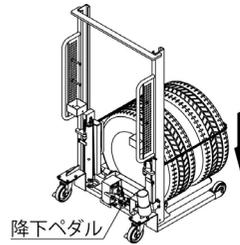
6. チェーンフックにチェーンをかけ、タイヤに巻き付け、固定してください。



7.大型タイヤリフターを手前に引いてタイヤを車体から外してください。

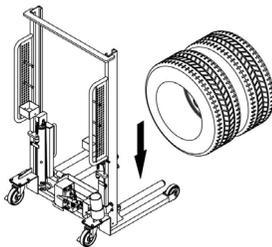


8.降下ペダルを踏み込み、フォーク部を下降させてください。

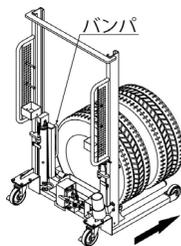


2) 取り付け方法

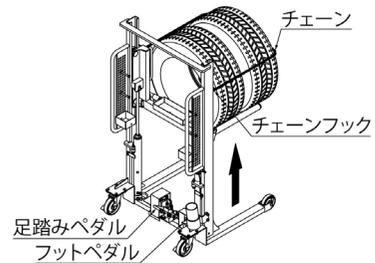
1.大型タイヤリフターを最低位まで下降させてください。



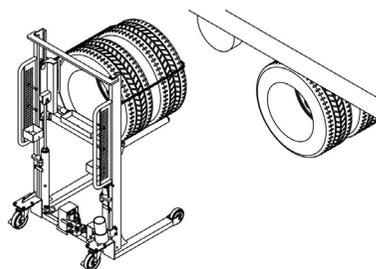
2.タイヤがバンパに当たる位置まで大型タイヤリフターを前進させてください。



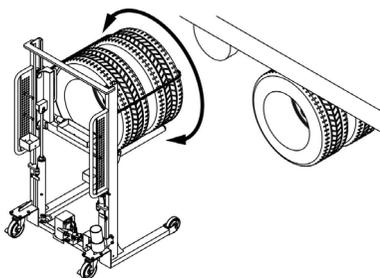
3 チェーンで固定し、足踏みペダルまたはフットペダルを操作してフォーク部を上昇させてください。



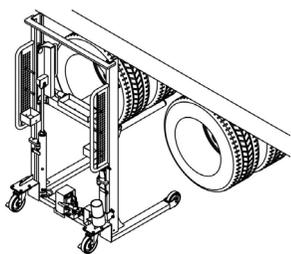
4.大型タイヤリフターをタイヤが車体に取り付けられる位置に移動させてください。



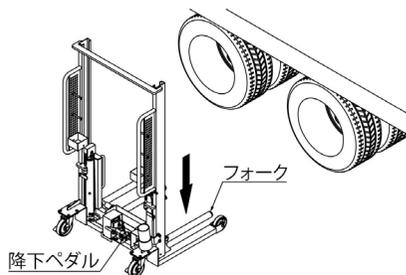
5.タイヤを回転させながら穴位置を合わせ、大型タイヤリフターを前進させ、車体にタイヤを取り付けてください。



6.チェーンを取り外してください。



7.大型タイヤリフターを手前に移動させ、降下ペダルを操作し、フォーク部を下降させてください。



⚠ 注意

- 1.大型タイヤリフターはタイヤを保持する為の機械です。無理に上昇させて大型タイヤリフターの能力以上の荷重をかけると破損の原因になります。
- 2.必ず2本のフォークの中心にタイヤの重心がくるようにセットしてください。
- 3.偏荷重での使用禁止。落下、転倒事故及び破損につながります。
- 4.降下ペダルはゆっくり操作してください。早く操作するとフォークが急激に下降してタイヤが落下し、重大な事故につながります。
- 5.本機は防水加工を行っておりません。(水の使用禁止)本機上でのタイヤの洗浄作業等は行わないでください。故障の原因となります。

4-7 大型タイヤリフター移動作業

- 1.チェーンフックにチェーンを掛け、タイヤを必ず固定してください。
- 2.タイヤを移動可能な低い位置まで下降させてから移動させてください。

注意

平坦で強固な場所で移動させてください。大型タイヤリフターが傾き、タイヤの落下の危険があります。

4-8 揚程制限

最高位に達しますとペダルが重くなりますが故障ではありません。更にそれ以上操作を行っても上昇はいたしません。

注意

最高位に達したら、フォーク部の上昇操作は直ちに停止してください。必要以上の操作は大型タイヤリフターの損傷につながります。

4-9 終業点検と保管

作業が終了したら可動部の障害物を取り除き、必ずフォーク部を最低位まで下げてください。この時ラベル等が汚れで見えなくなったり、大型タイヤリフター本体に異常が発見された場合、直ちに販売会社にご連絡して処置してください。

注意

保管はフォーク部を最低位まで下げ、車輪ロックをかけ、屋内に保管のこと。大型タイヤリフターが動き出し、思わぬ事故につながります。

5.定期点検

5-1 点検

安全に使用して頂くために、必ず定期点検を実施してください。なお点検は大型タイヤリフターにタイヤが載っていない状態で行ってください。

点検期間	点検箇所	点検項目	点検方法	保守要領
2 週間	・フォーク部	・変形、溶接部の亀裂はないか	・目視	・破損、変形、著しい 磨耗は交換
	・パネル部	・パネルに変形はないか	・目視	・破損、変形、著しい 磨耗は交換
	・前輪 ・後輪	・破損、変形、磨耗はないか ・回転はスムーズか ・ロックが作動するか	・目視 ・触感	・破損、変形、著しい 磨耗は交換 ・給油 ・交換
	・油圧シリンダー 部	・変形、破損、磨耗はないか ・油漏れ、異音はないか	・目視 ・聴取	・修理
	・エアポンプ部	・エア漏れ、変形、破損はないか	・目視	・破損、変形、著しい 磨耗は交換
	・継手 ・ウレタンチューブ	・エア漏れ、破損、変形はないか	・目視	・交換、修理
	・各ねじ部	・変形、破損、緩みはないか	・目視	・破損、変形は交換 ・緩みは増し締め
	・止めリング ・割りピン	・変形、破損、外れはないか	・目視	・破損、変形は交換 ・外れは組み直し
3 ヶ月	・油タンク	・作動油量の確認	・目視	・不足分の給油
12 ヶ月	・油タンク	・作動油の確認		・交換

⚠ 注意

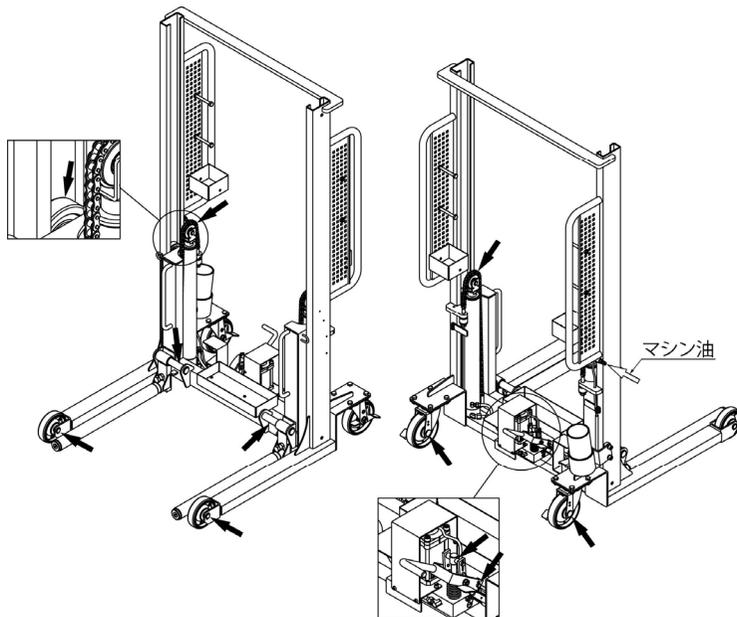
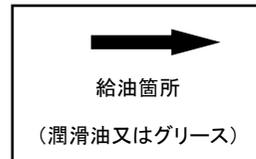
- 1.2週間に1度は最高位までフォーク部を上昇させてください。長期間使用しないと腐食が発生し、円滑に作動しない場合があります。
- 2.カバー等を外して点検した後は、必ず元通りに全てを取り付け、復元してください。
- 3.点検の結果、異常が発見された場合には直ちに大型タイヤリフターの使用を禁止して、お買い上げの販売会社へ連絡して処置をうけてください。
- 4.増し締めを行う場合は16ページ表のねじ締付トルクを参考に行ってください。

5-2 可動部への給油

※可動部への給油は2週間に1度以上行ってください。

潤滑油:マシン油

グリース:スプレー式グリース等、浸透性の良いグリース



5-3 作動油の種類と交換・補給

初回の作動油交換は、3ヶ月経過した時点で行ってください。次回からは12ヶ月点検時に行ってください。

⚠ 注意

- | |
|--|
| 1.給油・交換用の作動油は、弊社指定の作動油、又は、下記に示す作動油を使用してください。 |
| 2.重粘度のオイル・ブレーキオイル・揮発性のオイル・植物性オイル等は絶対に使用しないでください。パッキン・ガスケットの機能が低下し自然降下の原因となります。 |

大型タイヤリフターの油量

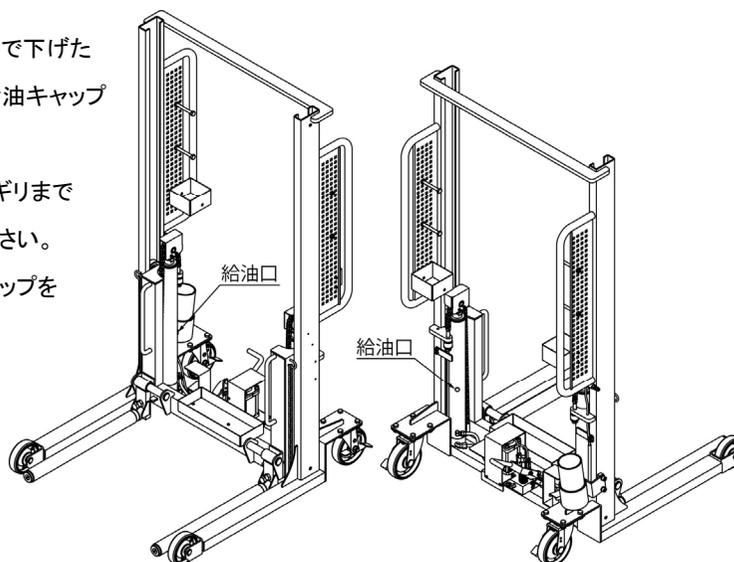
型 式	総油量 cc
NWD-400AH	700

作動油の種類

メーカー名	作動油名
JX 日鉱日石エネルギー	ハイランドワイド 15
コスモ	コスモハイドロ HV15K
昭和シェル	シェルテラス S2V15
モービル	モービル DTE10Excel15

給油方法

- 1.フォーク部を最低位まで下げた状態で両側2ヶ所の給油キャップを取り外してください。
- 2.片側の給油口にギリギリまで作動油を補給してください。
- 3.両側2ヶ所の給油キャップを取り付けてください。



⚠ 注意

- | |
|-------------------------------------|
| 1.給油・補給は必ずフォーク部を最低位まで下げた状態で行ってください。 |
| 2.油を入れ過ぎますと上昇速度低下の原因となります。 |

6.故障と処置

6-1 故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合のある場合はお買い上げの販売会社へ相談してください。

症 状	原 因	処 置
全然上がらない	作動油が入っていない	作動油を補給する(※1)
途中までしか上がらない	作動油が不足している	・作動油を補給する(※1) ・エア抜き作業を行う(※2)
自然降下する	油漏れしている	油漏れの場合は販売会社へ修理又は交換依頼する
エアポンプが作動しない	①エア圧力が不足または過多である ②エアポンプ内に油分が無くなり、摩擦が大きくなっている(油切れ状態)	①エア圧力を適正な値にする ②エア口より油を少量注油する
エアポンプが作動してもフオーク部が上がらない	エアポンプ油圧部に空気が入り油を吸込まない	油の吸込み作業を行う(※3)
降下速度が遅い	足踏みペダルの開放量が小さい	降下ペダルの角度を調整する(※4)
降下ペダルが上がり過ぎている	降下スプリングを離れた時の反動で上がっている	降下ペダルの角度を調整する(※4)

※1 14ページの5-3作動油の種類と交換・補給をご参照ください。

※2 16ページの6-1故障と処置の【エア抜き作業手順】をご参照ください。

※3 16ページの6-1故障と処置の【油の呼び込み作業手順】をご参照ください。

※4 17ページの6-2降下ペダル角度調整手順をご参照ください。

参考：ねじ締付トルク ※シリンダー本体部は増し締めをしないで販売会社へ連絡してください。

ねじの締付トルクについては、建築用高力ボルト以外にJISでははっきりと定められていません。はめ合いの硬さ加減や接触面のすべり具合の状態から数値を示すことは至難であります。目安が何も無いことは現場において不安であり、不便でもあるので、参考までに下記に示します。		
ねじの呼び	普通のボルト	六角穴付ボルト・高張力ボルト
強度区分	4.8	12.9
M8×1.25	12.3 N・m	38.5 N・m
M10×1.5	24.4 N・m	76.4 N・m
M12×1.75	42.5 N・m	133.3 N・m
M16×2.0	105.7 N・m	331.0 N・m
M18×2.5	145.5 N・m	455.5 N・m
M20×2.5	206.3 N・m	645.8 N・m
M24×3.0	356.7 N・m	1116.7 N・m
M30×3.5	708.7 N・m	2218.4 N・m

【エア抜き作業手順】(オイル交換した場合や油量が少なくなりエアを吸込んだ場合)

- 1.フォーク部を最低位まで下降させてください。
- 2.手動操作、エア操作でフォーク部を最低位から最高位まで各2～3回上昇させてください。

【油の呼び込み作業手順】(エアで上がらない場合)

- 1.フォーク部を最低位まで下降させてください。
- 2.足踏みペダル操作を数回行ってからフットペダルを踏み込み、手動操作とエア操作を同時に行いながらフォーク部を上昇させてください。(エアで上昇し始めると上昇スピードが速くなります。)

・エアで上昇し始めた場合

- 3.最高位までフォーク部を上昇させてください。
- 4.3の作業をフットペダル操作で2～3回繰り返してください。

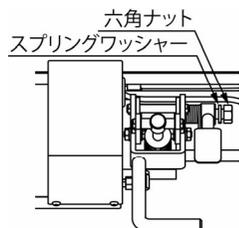
・エアで上昇し始めない場合

- 3.フォーク部を最低位まで下降させてください。
- 4.2の作業を繰り返してください。 ※それでも上昇しない場合は販売会社まで相談してください。

6-2 降下ペダル角度調整手順

降下ペダルの開放量が小さい、降下ペダルが上がり過ぎている場合

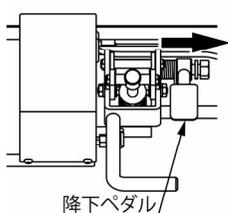
1. スプリングワッシャーがガタつくまでナットを緩めてください。



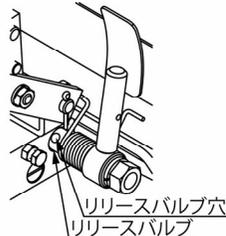
2. 細い棒、ハンマーなどを使用し、矢印の方向に押し降下ペダルを外してください。

※降下ペダルを外す際、バネの反動で降下ペダルが跳ね上がりますのでご注意ください。

外す前

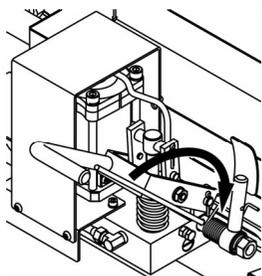


外した後



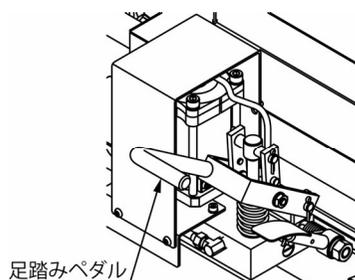
3. リリースバルブの穴に細い棒などを入れ、矢印の方向に回して軽く締めてください。

※リリースバルブを強く締め過ぎるとポンプ内の鋼球がめり込んでしまう為、強く締め過ぎないようにご注意ください。

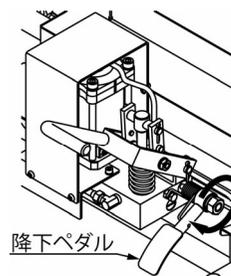


4. 降下ペダルを足踏みペダルと同じ角度になる位置でスプリングワッシャーが平らになるまでナットを締め込んでください。

※ナットを強く締め過ぎるとポンプ内の鋼球がめり込んでしまう為、強く締め過ぎないようにご注意ください。



5. 降下ペダルを下げた状態でナットを増し締めしてください。



7.仕様

型 式	適応タイヤ サイズ	能 力 kg	揚 程 mm	外 寸 W×D×H mm	重 量 kg	作動エア 圧力 Mpa	コンプレッサー 所要動力 kW(ps)
NWD-400AH	Φ1160～ Φ590	400	1000	910×976× 1720	138	0.7～1.0	2.2(3)

(品質向上のため予告なく仕様を変更することがあります)

8.製品保証規定

1)保証規定

取扱説明書、本体注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理させていただきます。但し、二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証致しません。

- 1.使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2.製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3.消耗品が損傷し取替えを要する場合。
- 4.火災・地震・風水害・その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- 5.指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- 6.日本国外で使用される場合。
- 7.保証請求手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡がない場合)。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗部品につきましては、保証の適応は除外させていただきます。

注意

この大型タイヤリフターは防水仕様になっておりませんので、錆、腐食等の水による故障は保証いたしておりません。

2)保証請求方法

前期の規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は、大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご承知ください。

3)アフターサービスについて

- 1.調子が悪い時……………まずこの取扱説明書の〔6.故障と処置〕の項目をもう一度ご覧になって調べてください。
- 2.それでも調子が悪い時は……商品保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社へ修理依頼をしてください。
- 3.保証期間中の修理について……保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 4.保証期間後の修理について……有償で対応させていただきます。
- 5.アフターサービスについての詳細・その他ご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせください。
- 6.お問い合わせ頂く場合は、次の事項をお知らせください。
型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)

上記事項を下表に必ず記載してください。

型式	
機体番号	
購入年月日	
購入店名	社名： 担当者： 住所： 電 話：
故障日・状況	年 月 日
故障日・状況	年 月 日

—MEMO—

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

長崎ジャッキ株式会社

〒447-0854 愛知県碧南市須磨町5番地2

TEL 0566-41-1482 FAX 0566-42-0709